

2013年3月期 決算説明会

株式会社アイネット

2013年5月16日

東証1部
証券コード 9600

次第	プレゼンター	所要時間
はじめに	経理・財務部長 松本 将浩	約15分
2013年3月期 業績概要		
当社グループの 事業方針・強み	代表取締役社長 梶本 繁昌	約20分
業界環境 当社グループの状況		
通期業績予想		
質疑応答		



1. はじめに（会社概要）

2. 2013年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期業績予想

- 商号 株式会社アイネット
- 設立 1971年4月22日
- 本社 横浜市西区みなとみらい3-3-1
- 資本金 3,203百万円

- 代表者

代表取締役会長 池田 典義

代表取締役社長 梶本 繁昌

- グループ会社

(子会社) 株式会社ISTソフトウェア

株式会社アイネット・データサービス

(関連会社) 株式会社ラネクシー

- 社員数1,388名(連結)

926名(単独)

事業所／支店／データセンター

東京事業所 札幌支店、仙台支店、中部支店

大阪支店、中四国支店、福岡支店

第1データセンター、第2データセンター



I-net Center



I-net Data Center



1. はじめに（会社概要）

2. 2013年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期業績予想

(単位:百万円・%)

	2012年3月期		2013年3月期		前年同期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	20,374	100.0	21,587	100.0	+1,213
売上原価	15,486	76.0	16,358	75.8	+872
売上総利益	4,887	24.0	5,228	24.2	+340
販管費	3,673	18.0	3,690	17.1	+17
営業利益	1,214	6.0	1,538	7.1	+323
経常利益	1,113	5.5	1,487	6.9	+374
税引前利益	1,173	5.8	1,607	7.4	+434
当期純利益	592	2.9	885	4.1	+292
1株当たり利益(円)	45.5	—	67.9	—	+22.4

inet サービス区分別販売実績・営業利益(連結)

(単位:百万円)

	2012年3月期		2013年3月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
					金額	金額
情報処理サービス	7,802	625	8,486	826	① +684	+201
(営業利益率)		8.0%		9.7%	—	+1.7%
システム開発サービス	11,761	547	12,291	668	② +530	+121
(営業利益率)		4.7%		5.4%	—	+0.7%
システム機器販売	810	42	808	42	△2	+0
(営業利益率)		5.2%		5.3%	—	+0.1%
合計	20,374	1,214	21,587	1,538	+1,213	+323
(営業利益率)	—	6.0%	—	7.1%	—	+1.1%

(主な要因)

- ① データセンターサービスおよびクラウドサービスが好調に推移、増収増益
- ② 製造業等のシステム更新需要が回復したことにより増収増益

(注) 営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

(単位:百万円・%)

	2012年3月期末		2013年3月期末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
流動資産	7,230	33.8	7,566	33.7	① +336
固定資産	14,171	66.2	14,892	66.3	② +721
繰延資産	3	0.0	—	—	△3
資産合計	21,405	100.0	22,459	100.0	+1,054
流動負債	7,068	33.0	6,353	28.3	③ △715
固定負債	6,208	29.0	7,250	32.3	④ +1,041
負債合計	13,277	62.0	13,604	60.6	+326
純資産	8,127	38.0	8,854	39.4	+727
負債・純資産合計	21,405	100.0	22,459	100.0	+1,054

(主な要因)

- ①売上増加に伴い売掛債権393百万円増加
- ②DC拡充等では有形固定資産314百万円増加、情報処理ソフト投資により無形固定資産350百万円増加
- ③社債償還・短期借入金返済により1,553百万円減少、業容拡大によりその他負債838百万円増加
- ④長期借入金968百万円増加

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期		前年同期比
	金額	金額		増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,192	①	1,890	△302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,941	②	△899	+1,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	8	③	△1,073	△1,081
現金及び現金同等物の増減額	259		△81	△340
現金及び現金同等物の期首残高	2,297		2,556	+259
現金及び現金同等物の期末残高	2,556		2,474	△81

(主な要因)

①利益および償却等による内部留保金+2,914百万円【増加】、法人税等の支払△1,151百万円【減少】

②事業譲渡による増加+333百万円【増加】

固定資産(データセンター拡充等)の取得 △1,371百万円等【減少】

③有利子負債の返済△585百万円【減少】、配当金等の支出△485百万円【減少】



1. はじめに（会社概要）

2. 2013年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期業績予想

■事業方針

●エンドユーザー志向

- ・お客様に選ばれ信頼関係を構築
- ・多面的な取引の実現

●ストックビジネスの拡大

- ・継続的な売上／利益の確保
- ・人当たり利益の増加

■当社グループの強み

安全なデータセンターでシステム構築から運用、さらにはBPO業務までお客様に最適なITサービスを**ワンストップ**で提供

システム開発サービス

コンサル
要件定義

システム
設計構築

情報処理サービス

受託計算
データセンター
クラウドサービス

プリント
封入封緘



1. はじめに（会社概要）

2. 2013年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期業績予想

国内IT市場

- 2013年国内IT市場規模は前年比マイナス0.1%の13兆8,771億円
2012～17年の年間平均成長率は0.1%で横ばい

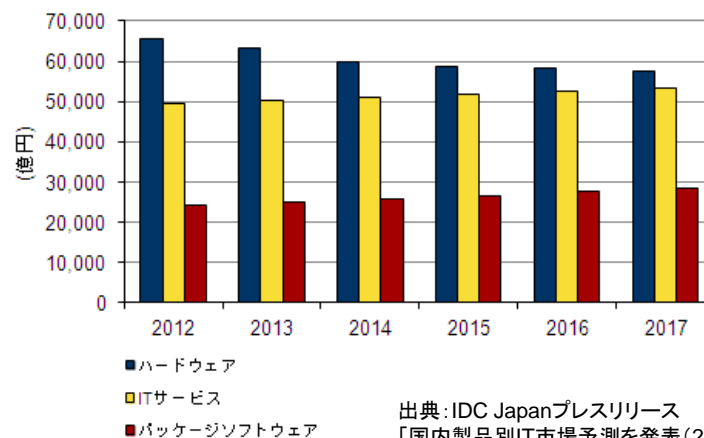
出典: IDC Japanプレスリリース(2013年4月22日)「国内製品別IT市場予測を発表」より

⇒ITハードウェア市場はコモディティ化や
「所有」から「利用」が進みマイナス成長
一方で、ITサービス市場と
パッケージソフト市場は成長継続

ITトレンド

⇒企業のIT投資は
コストダウン／BCP対応など「守り」の部分
+
M2Mやビックデータ分析などマーケティング戦略
のための「攻め」に本格利用

国内製品別IT市場 支出額予測:2012年～2017年



Note: 2012年は実績値、2013年以降は予測

出典: IDC Japanプレスリリース
「国内製品別IT市場予測を発表(2013年4月22日)」より 転載禁止

ストックビジネスの拡大(高収益/安定成長)

■ 好調なSS向けビジネス (注)SS=ガソリンスタンドのこと

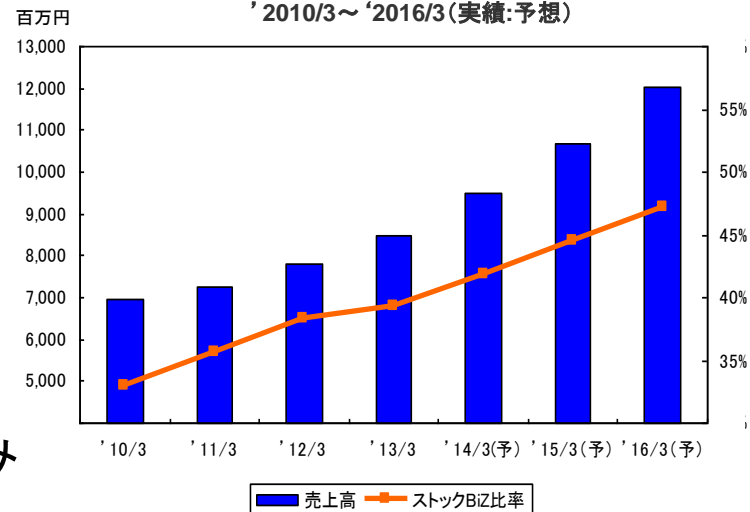
- SS店舗数は減少傾向も当社処理数は増加
⇒ 過去最高益を4期連続更新
⇒ 債権保証/非対面決済のサービス展開

■ データセンタービジネス/クラウドサービス

- データセンター市場拡大を背景に受注拡大中
⇒ 第2データセンター I 期棟は90%受注済み
建設中の II 期棟の引き合い活況
⇒ DC+BPO・・・官公庁など利用拡大

- 新クラウドサービス「Dream Cloud®」提供開始

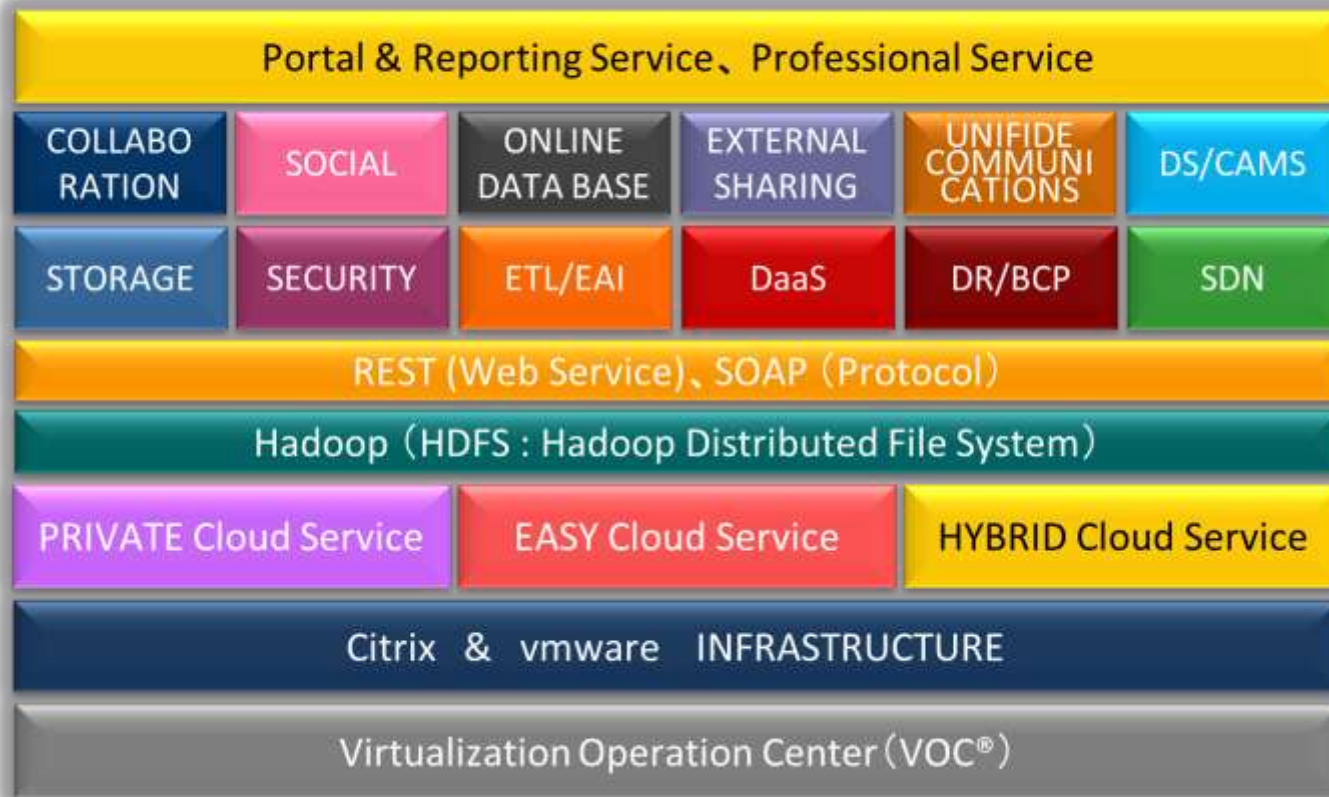
当社ストックビジネス(情報処理サービス)の推移
'2010/3~'2016/3(実績:予想)



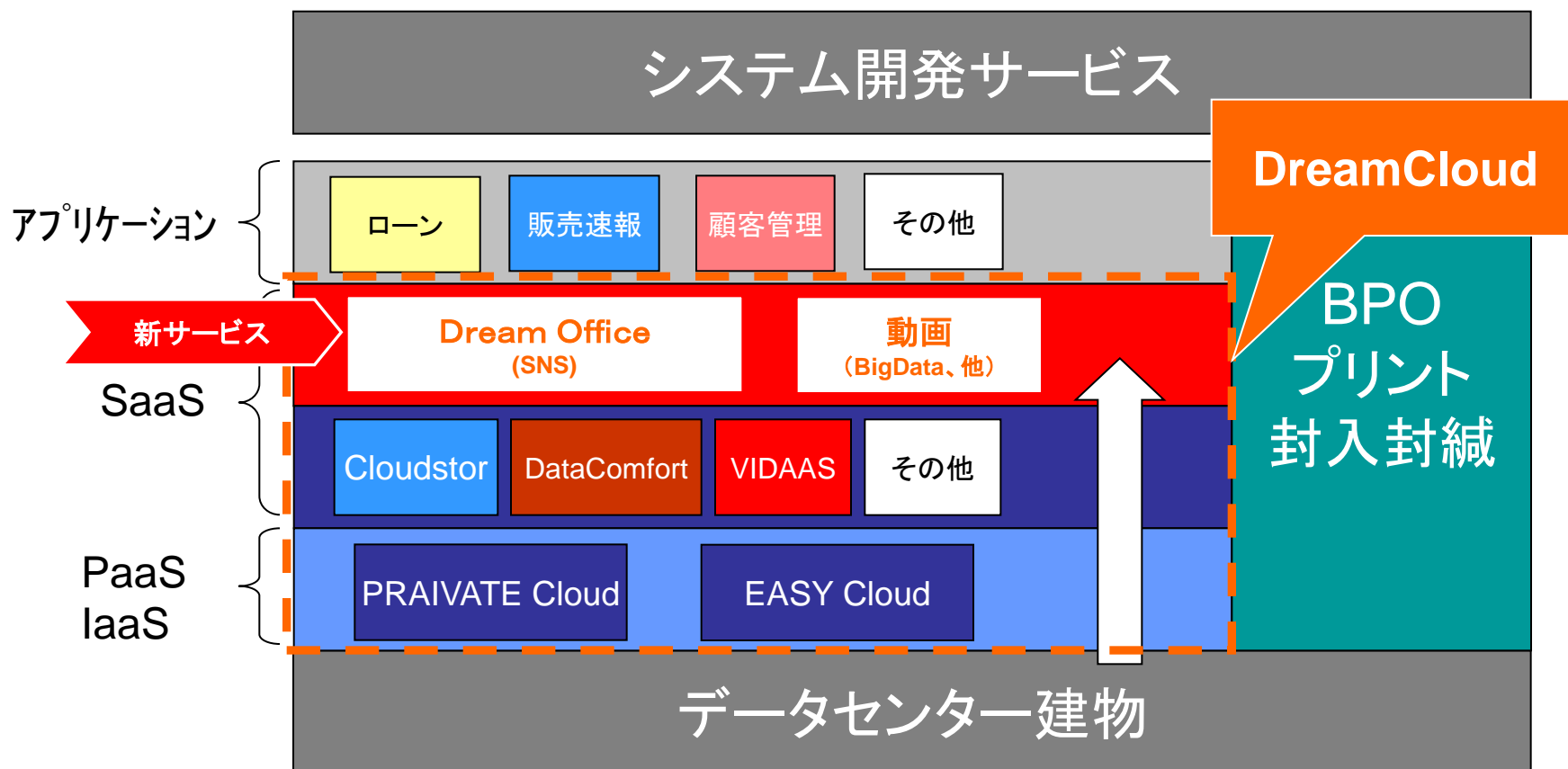
《スクリーンをご覧ください》

クラウドサービスを拡充しDreamCloud®として
サービスを拡大提供

Dream Cloud Service Portfolio



クラウドサービスを拡充しDreamCloud®として
サービスを拡大提供



《スクリーンをご覧ください》

2013春クラウドEXPO
5.8~5.10
盛況で多くの営業リード獲得

エンドユーザ志向(信頼関係構築／多面的営業)

エンドユーザ売上高が2期連続増加

■ 製造業関係

⇒円安等で収益回復して投資再開

■ 金融業関係

⇒カードローン関連はシステム追加案件など受注拡大

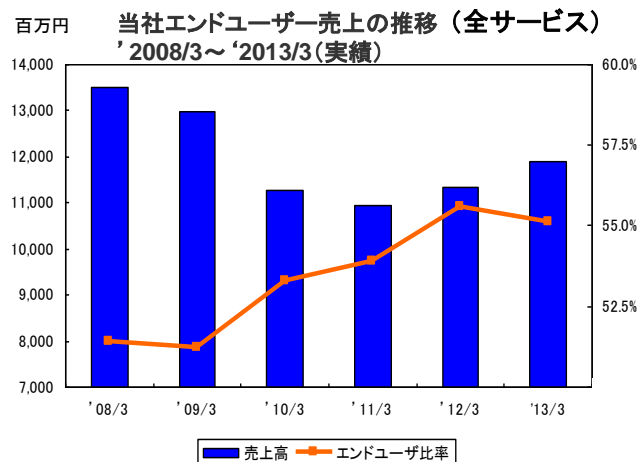
⇒地銀向け活動基準原価計算(ABC)システムを継続展開

他業種からの引き合いも

■ 制御／防衛／宇宙分野

⇒医療、防衛関連が前期に引き続き堅調

⇒宇宙は「はやぶさ2」の設計・検査や「ISS」の運用など受注堅調



	2013年3月期 (前期)		2014年3月期 (今期)	
	業界の景況感	当社の景況感	業界の景況感	当社の景況感
石油業 販売店含む				
金融業 その他金融業				
製造業 制御・宇宙				
データセンター サービス				
クラウド サービス				



1. はじめに（会社概要）

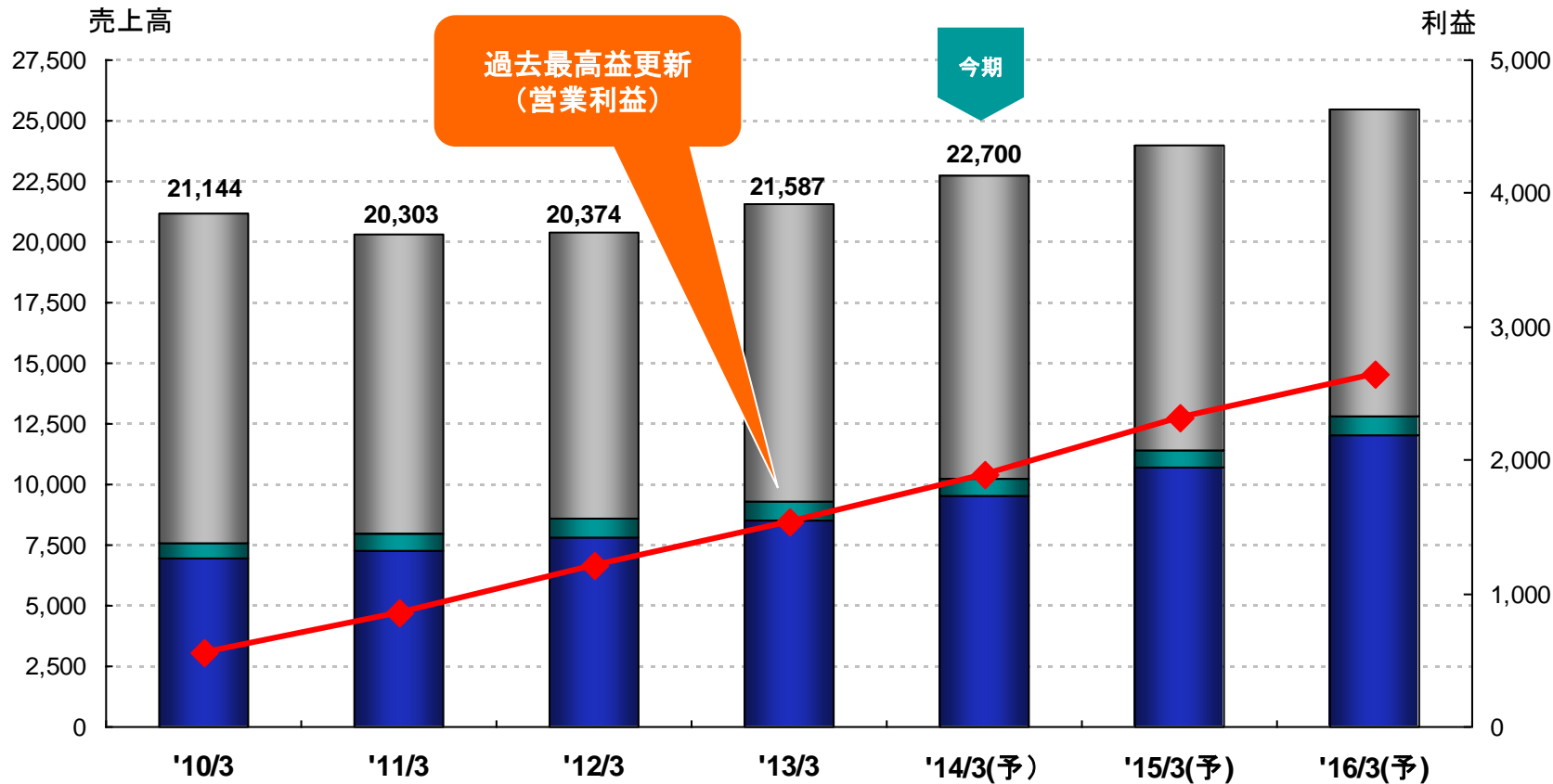
2. 2013年3月期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期業績予想

■ 情報処理サービス
 ■ 機器販売
 ■ システム開発
 ◆ 営業利益
 (単位:百万円)

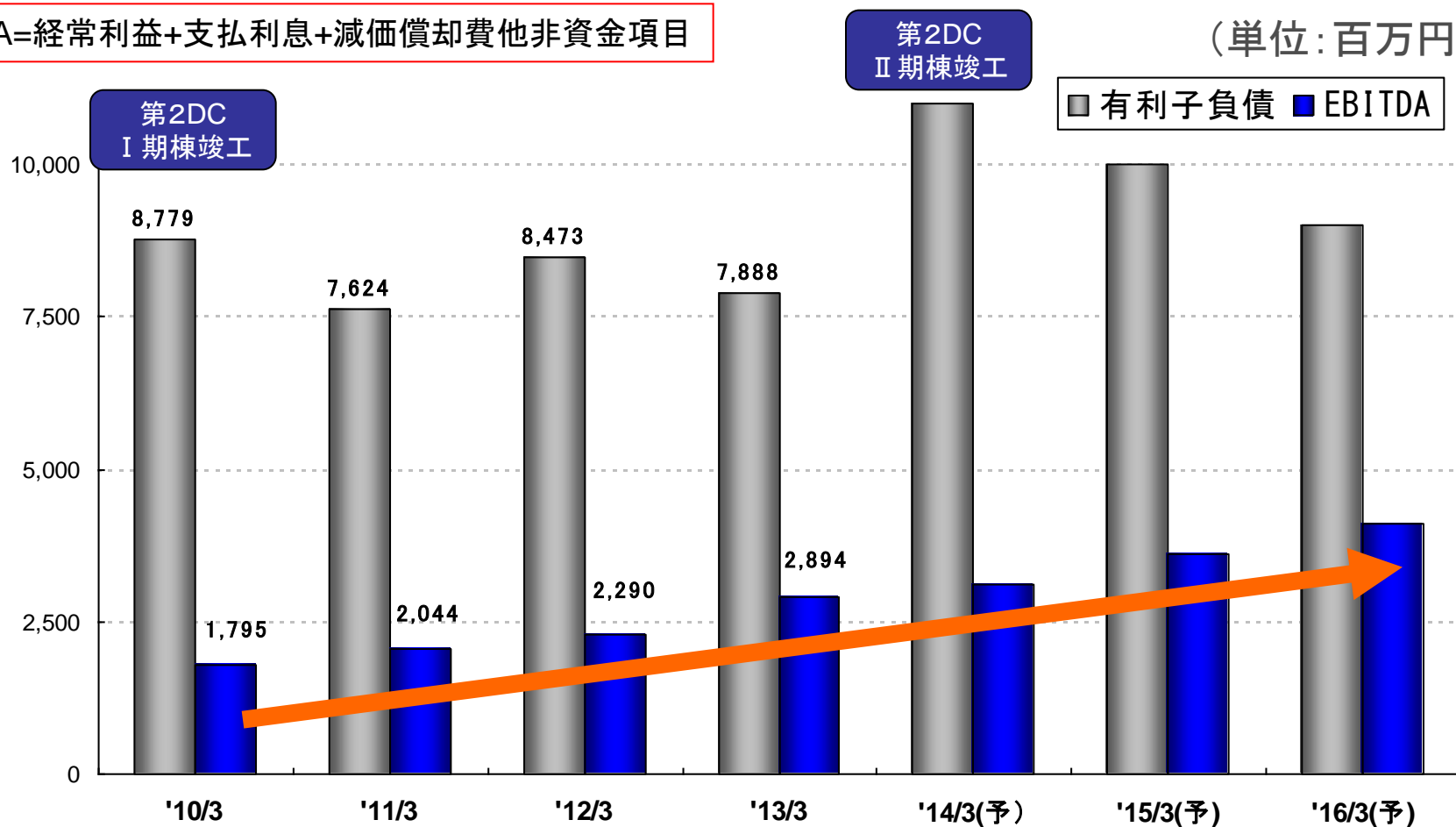


	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3(予)	'15/3(予)	'16/3(予)
ストックBiz売上高	6,956	7,252	7,802	8,487	9,500		
ストックBiz構成比	32.9%	35.7%	38.3%	39.3%	41.9%		

inet 中期財務イメージ(連結)有利子負債とEBITDAの推移

EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費他非資金項目

(単位:百万円)



	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3(予)	'15/3(予)	'16/3(予)
設備投資額	2,671	764	1,931	1,371	4,300		

（単位：百万円・％）

	2013年3月期		2014年3月期		前期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	21,587	100.0	22,700	100.0	+1,112
売上原価	16,358	75.8	16,960	74.7	+601
売上総利益	5,228	24.2	5,740	25.3	+511
販管費	3,690	17.1	3,850	17.0	+160
営業利益	1,538	7.1	1,890	8.3	+351
経常利益	1,487	6.9	1,730	7.6	+242
当期純利益	885	4.1	1,000	4.4	+115
1株当たり利益(円)	67.9	—	76.7	—	+8.8

前期に引き続き過去最高の営業利益を更新、経常利益も過去最高益を更新

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報処理サービス	8,486	826	9,500	1,023	①+1,013	+196
(営業利益率)		9.7%	—	10.7%		
システム開発サービス	12,291	668	12,430	822	② +138	+153
(営業利益率)		5.4%	—	6.6%		
システム機器販売	808	42	770	45	△38	+3
(営業利益率)		5.3%	—	5.8%		
合計	21,587	1,538	22,700	1,890	+1,112	+352
(営業利益率)	—	7.1%	—	8.3%	—	+1.2%

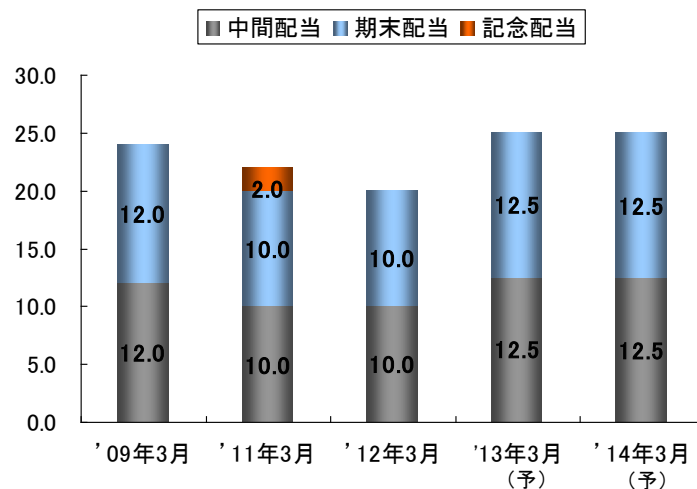
①クラウドサービス等の伸長により第2DCⅡ期棟の償却負担を吸収し増収増益

②システム需要は2013年も継続、増収増益

(注)営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

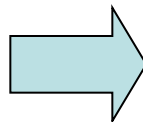
《配当方針》

将来の資金需要に備え
内部留保しつつ
安定配当を継続実施



1株当たり年間配当金の計画

2013年3月期(予定)
25.00円
中間(12.50円)
期末(12.50円)



2014年3月期(予定)
25.00円
中間(12.50円)
期末(12.50円)

本日はご多用中にもかかわらず
説明会にお越しいただき誠に
ありがとうございました。



当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がありますことを、予めご承知頂きますようお願い申し上げます。

当資料に掲載されているサービスおよび商品などは、株式会社アイネットあるいは各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは、下記連絡先までお願い致します。

企画本部 経営企画・IR部 高宮、杉岡

TEL 045-682-0808

E-Mail infoir@inet.co.jp

URL <http://www.inet.co.jp>